

(第4回) 契約変更の内容

変 更 契 約 年 月 日	令和7年2月26日
契 約 業 者 名	日本工営株式会社 北関東事務所
契 約 業 者 の 住 所	埼玉県さいたま市大宮区宮町2-35
業 務 の 名 称	R4・R5 荒川右岸古南用水樋管改築詳細設計他業務 (第4回変更)
業 務 場 所	荒川上流河川事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
業 務 概 要 (変 更 し た 内 容 に つ い て 記 述 す る)	・ 古南用水樋管詳細設計 ・ 荒川右岸築堤護岸詳細設計 ・ 荒川右岸築堤護岸修正設計 (JR川越線下流) ・ BIM/CIM活用検討
履 行 期 間 (自)	令和4年6月4日
履 行 期 間 (至)	令和7年3月19日
変 更 前 の 契 約 金 額	104,643,000円 (税込み)
変 更 金 額	+ 6,688,000円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	111,331,000円 (税込み)
変 更 理 由	1. 古南用水樋管詳細設計 樋管改築後の堤防整備について、近接するJR川越線橋梁への影響を抑えるため、現況堤防高までの築堤設計を追加するものとする。 2. 荒川右岸築堤護岸詳細設計 設計延長の精査に伴い、数量に変更が生じたため増工する。 3. 荒川右岸築堤護岸修正設計 (JR川越線下流) JR川越線橋梁下流部の堤防高が不足している区間について、洪水を安全に流下させるために必要な堤防整備を進めるため、既存の設計成果に対し修正設計が必要となったことから追加するものとする。 4. BIM/CIM活用検討 当初特記仕様書に基づき、BIM/CIM活用の費用を計上する。

(第3回) 契約変更の内容

変 更 契 約 年 月 日	令和6年11月29日
契 約 業 者 名	日本工営株式会社 北関東事務所
契 約 業 者 の 住 所	埼玉県さいたま市大宮区宮町2-35
業 務 の 名 称	R4・R5 荒川右岸古南用水樋管改築詳細設計他業務 (第3回変更)
業 務 場 所	荒川上流河川事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
業 務 概 要 (変 更 し た 内 容 に つ い て 記 述 す る)	・ 樋門詳細設計 ・ 施工影響検討
履 行 期 間 (自)	令和4年6月4日
履 行 期 間 (至)	令和7年3月19日
変 更 前 の 契 約 金 額	87,406,000円 (税込み)
変 更 金 額	+ 17,237,000円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	104,643,000円 (税込み)
変 更 理 由	1. 樋門詳細設計 関係者協議の結果、樋管の構造形式を当初想定していた柔構造形式から剛構造形式に変更する必要が生じたことから、詳細設計に使用していた歩掛の変更 (減) が生じた。 2. 施工影響検討 橋梁管理者との協議の結果、既設橋梁に対する施工影響検討で行う二次元解析の検討ケースに追加が生じた。また、二次元解析の結果に対し三次元解析で検証を行った結果、盛土による新設JR川越線橋梁への影響が認められたことから、変位抑制効果についての追加検討を行う必要が生じた。